

【試合結果】

女子 決勝トーナメント		準決勝	
日時	平成29年8月6日 (日)		9:00 ~
会場	北海道立北見体育センター		
結果	●	○	
	恵庭恵み野 石狩	札幌向陵 札幌	
	65	86	
	16 - 23 13 - 21 20 - 23 16 - 19 OT		
審判	主審	副審	

第47回北海道中学校バスケットボール大会



【ボックススコア】

恵庭恵み野				石狩				
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	今野 菜優	×	16	1	4	5	0	3
5	長居 祐花	×	15	1	5	2	5	3
6	加藤 杏菜	×	16	4	2	0	5	2
7	荒谷 菜奈							
8	大西 覚子							
9	戸辺 綺華							
10	三瓶 茜音							
11	詫摩 成実	×	2	0	1	0	1	1
12	吉田 早希	×	11	1	4	0	0	2
13	福島 結	/	5	0	2	1	2	1
14	長田 陽香							
15	瀬戸 みなみ							
16	黒川 凜	/	0	0	0	0	1	0
17	中村 美沙希							
18	野竹 陽向							
HC	福本 幸輔							
合計			65	7	18	8	14	12

札幌向陵				札幌				
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	森岡 かりん	×	24	0	11	2	8	2
5	江畑 光琉	×	23	0	10	3	7	1
6	浅井 徳花							
7	齋藤 結香	×	17	0	8	1	2	0
8	二木 百香	/	0	0	0	0	1	0
9	吉田 洸							
10	安達 舞							
11	橋本 千優							
12	石田 かれな							
13	青山 萌夢							
14	前田 ひまわり	/	4	0	2	0	2	2
15	岩淵 耶々子							
16	新田 芽生	/	0	0	0	0	0	1
17	田村 梨奈	×	0	0	0	0	4	1
18	森岡 ほのか	×	18	2	6	0	7	2
HC	菅原 伸素美							
合計			86	2	37	6	31	9

出場 ×:スターター /:途中出場 DNP:出場なし
 得点 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー

【選評】

沖縄全中への切符をかけた一戦。石狩地区代表、恵庭恵み野中学校と、札幌地区代表向陵中学校の対戦。恵み野#4、#5、#6、#11、#12、向陵#4、#5、#7、#17、#18でスタート。向陵は#5の高さを生かし、インサイドを攻める。対する恵み野は#4を中心にキレのあるドライブで対抗。体格で勝る向陵が#4、#5のコンビプレーで得点を重ねる。しかし恵み野も#4がスティールからジャンプシュート、3ポイントと流れを渡さない。向陵はその後#4、#5を中心にインサイドを攻め、15-10向陵リードとなったところで恵み野がタイムアウト。タイムアウト明けもリバウンドを支配する向陵。23-16向陵リードで第1ピリオド終了。

第2ピリオド先手を取ったのは恵み野。オフェンスリバウンドをみんなで拾い、#5がシュートを決める。向陵もその後すぐさま#18が3ポイントを沈め流れを渡さない。さらには#7がスティールからレイアップを決め、10点差までリードを広げる。流れをつかみたい恵み野はアウトサイドシュートを放つもリングに嫌われなかなか点数が伸びない。向陵はリバウンドからの速攻で32-20とリードを広げたところで恵み野が前半2回目のタイムアウト。しかし向陵のながれは止まらず、速攻で更に加点する。恵み野はついに#6の3ポイントが決まり、38-27と点差をつめる。しかしここで向陵がDFで意地を見せる。#7、#18が連続でスティールから速攻を決める。44-29向陵リードで前半終了。

後半のオープニングシュートは向陵#18の3ポイント。恵み野のブレイクチャンスに向陵#7がスティールし、速攻から#4がシュートを決め点差は20点となる。あとがない恵み野は#11のシュートからプレスをしかけるも、向陵に突破され53-31となりタイムアウト。タイムアウト明け、恵み野は#11のシュート、#6の3ポイントで点差を一気に詰める。向陵も#7がスピードを生かしレイアップを決めて突き放しにかかる。意地を見せる恵み野は#6が再び3ポイントを決め、57-43となったところで向陵タイムアウト。タイムアウト明け、恵み野は#4がスティールから更に得点を決め、12点差に詰め寄る。しかしその#4がシュート時に負傷し、コートを抜ける。その間にたたみかけたい向陵は#5を中心にどンドンインサイドを攻める。61-49から一気に67-49と恵み野を突き放し、最終ピリオドへ。

最終ピリオドは恵み野#6の3ポイントでスタート。67-52の残り6分強、恵み野は負傷した#4をコートに送る。直後に恵み野#13がバスケットカウントを決め、フリースローも沈めて再び点差を12とする。今度は向陵#7が個人技からバスケットカウント。点差を15に戻し恵み野に流れを渡さない。74-57、点差が17点となったところで恵み野が後半2回目のタイムアウト。しかし向陵の勢いは止まらず、#4、#5が得点を重ねる。残り2分、78-59となったところで恵み野が最後のタイムアウト。恵み野#5が3ポイントを決めるも、向陵#5がすぐに取り返す。恵み野は粘りを見せるも最後は86-65で向陵が押し切り、全国大会への切符を手にした。高さに勝る向陵が力を示した試合になったが、劣勢でも最後まで相手を追いかけ続けた恵み野中学校の健闘もたたえたい。